

部長会議主旨

日時:令和8年6月23日(火)
午前9時～午前9時15分
場所:市役所4階 庁議室

1 市長の話

(1)緊急経済対策と対応状況

補正予算に伴う緊急経済対策が示され、各部署は7月に向けて速やかに対応を進めています。詳細が未確定な点もありますが、スピード感を持って対応しますので、ご協力をお願いします。

(2)時間外勤務の現状と問題意識

4月・5月の時間外勤務が昨年に比べて大幅に増加しており、100時間を超える職員も確認されています。システム標準化による業務増、国の制度変更、想定外の欠員などが影響している可能性があります。「仕方がない」で済ませるわけにはいきません。早急に原因を分析し、対策を講じる必要があります。

(3)意識改革から具体的行動へ

職員の意識改革は進んできていますが、次の段階として具体的な仕組み作りと業務の平準化が必要です。繁忙期だからといって現状を放置せず、来年の4月5月に同じ事態が起きないように、体制を整え、具体的なアクションを示してください。

(4)人員配置と管理職の役割

7月や10月の人員配置で対応する考えですが、配置だけでは不十分です。部長・副部長が現場の状況を正確に把握して行動を変えなければ効果は限定的になります。単に「定数を1増やす」と述べるだけでなく、どのような職位(管理職、補佐、主査級など)の人材がどの業務に必要なかを具体的に示してください。

(5)時間内勤務の重要性(3つの観点)

時間内に勤務を終わらせることの重要性を改めて、次のとおり共有します。

ア 職員の健康と生活:長時間労働は健康や家庭生活に悪影響を及ぼします。管理職は職員の安全と健康を守る責務があります。

イ 市民負担の観点 :時間外手当は割増でコスト負担が大きく、市民の税金を適正に使う観点からも抑制が必要です。

ウ 組織の持続可能性:特定の職員に業務を偏らせると組織の持続力が弱まります。適正な配置と業務量の把握が不可欠です。

(6) 今後の要請

4月～6月の時間外勤務が特に多かった部署は、原因を分析し具体的な改善策を提出してください。他に増加が見られた部署も同様に原因を明確にして対策を講じてください。

今、長時間残業の職員がいることの責任を、全て部長や課長に帰するつもりはなく、その状況に対応できる人を配置してこなかったというのは私の責任であり、定数等の査定に際して、状況を十分聞き取れなかった部分もあったということを改めて私自身も反省をしています。ついては、部長副部長のみなさんは、現場がどういう状況になっているのかを、具体的に言語化をしていただきたいと思います。なぜ1人必要なのか、1人配置したら、具体的にどうなるのか。どんな1人が必要なのか、それは人数が必要なのか、人数はいらないが、管理職が必要なのか、管理職をサポートする補佐や主査級が必要なのか。定数1増という言葉だけでは伝わらないものがありますので、それぞれの部署において、その必要性というものを、部長副部長の責任においてしっかりと言語化してください。

少なくとも10月の人事異動では、必要なところに対して対応していきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

繰り返しになりますが、今回、部長面談で一番多かったのは、自分の部署から病欠を出さない、1年間全員で完走してゴールを切るんだということが、部長の皆さんの1つの大きな目標としてほとんどの部署でそういう声が出てきたと思っています。

そうするためには、やはり具体的なアクションが必要ですので、ぜひ、具体的なアクションにつなげていただきたいと思います。

どうかよろしくお願いいたします。

2 通知及びお知らせ

(1) 令和8年度に向けた政策形成の基本方針について(企画財政部) 【資料1】

資料に沿って内容を説明。

3 その他